

Rotary

イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝朗

幹 事 塚越 淳史

会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2998号 2023年5月9日(晴れ) 第40回例会 会員数110名

ハイブリッド例会

点 鐘 加藤 勝朗 会長
司 会 副SAA 中山会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ 小付 焼物 クリームコロケサラダ
添え 香の物 汁 御飯 デザート

会長挨拶 加藤 勝朗 会長

皆さん、こんにちは。ロータリアンには「会費を納めること」「例会へ出席すること」そして、「ロータリーの友を購読すること」の三大義務があります。このうちの「ロータリーの友を購読すること」を果たすための委員会が雑誌委員会です。また、例会のたびに会報を出すことが会報委員会の仕事です。当クラブは会報・雑誌委員会と一つの委員会になっています。実は会報とロータリーの友は深い関係にあります。ロータリーの友の5人の編集職員が全国34地区のクラブの情報を集めています。その主な情報源は各クラブの会報や週報です。一方で各クラブは、会報を出すことで自クラブの活動を全国のクラブに伝えることができます。当クラブの会報が今月、3000号を迎えます。これを機に、会報を毎月ロータリーの友に送る事により、より一層活動の知名度が高まると思います。今日の卓話で、会報の意味を再考してみましよう。



幹事報告 塚越 淳史 幹事

◇ロータリーレート 5月は1ドル136円。

◇本日18時30分~ ホテルニューイタヤにて 加藤年度第11回定例理事会開催。

◇趣味の会の代表の方へお願い 現況報告書用の趣味の会の報告書を事務局にご提出を。



委員会報告

◇地区研修・協議会出席者へ 谷田部次年度幹事
5月14日、ご出席される方は本日名札をお持ち帰りいただき、当日会場にお持ちください。◇スマイルボックス委員会 炭田委員長
石川元信会員

今年は令和5年5月5日の誕生日です。555のゾロ目のラッキーNo.です。

来期はよろしくお願ひ致します。

◇親睦委員会 山崎委員長
<誕生祝い・5月>

会員誕生

蜂須 賀勲、平野 利一、石川 元信、
片嶋 常隆、蝶良 昭人、塚越 淳史、
横堀 学 各会員

夫人誕生

細谷 俊夫、飯泉 修一、小林 正明、
黒澤 佳樹、太城 敏之、山下 大介
各会員の奥様

・親睦家族ハイキングのご案内

6月18日に春の軽井沢家族ハイキングを予定しています。軽井沢の野鳥の森散策、アウトレッドショッピング等ありますので、会員の皆様、ご家族様、是非、ご参加ください。



会員卓話

「会報通算3000号を迎えて」



会報・雑誌委員会 関 元明委員長

皆様、こんにちは。会報通算3000号という記念の時に委員をさせて頂き、大変驚き、また光栄に思っています。ロータリークラブへの入会の動機は、ボランティア活動や奉仕活動に参加したい、異業種の人達と交流したい等、会員それぞれ違うと思いますが、私の場合は「入会すると今と違う世界を見ることが出来る」とある人に言われた事でした。よって、生臭ロータリアンの私ですので、今まで出席率も悪く、会報等もあまり真剣に読んでいませんでした。加藤年度になって会報委員に指名されてからは、心をいれかえまして、欠席もなく、しっかりと会報も読ませていただいています。

ここで会報の役割とは何なのかを考えてみますと、毎週例会の会長挨拶や卓話、また各委員会の報告等を文章として残しておく大切な役割があり、クラブの歴史を記録しておく、とても貴重なものだと思います。また、会長の年度テーマや考え方を文章にして繁栄させていくのも、会報の一つの役割ではないかと思っています。改めて、私がここ一年間で大変感動し勉強になり、ためになった事、会報に記載されていますが、加藤会長の言われた事を少し読ませていただきます。

11月1日第17回例会より 「ロータリークラブ活動の基本哲学は自由平等友愛の精神です。このことは一步間違えれば、身勝手にロータリーの調和と統一を乱すことになる危険性をはらんでいます。」 「ロータリーは人生の道場である。」

2月21日第31回例会より 「ロータリーでの奉仕活動は、単なる寄付行為や清掃活動や慰問活動ではありません。一人一人が、世のため人のためそして自分のためになる奉仕の理念を考え、実践することです。そうすることによって、人を育てることができ、自分自身も成長していくことができます。」 というものです。なかなか言葉では理解出来ても行動をとまなう事が出来ませんが、肝に銘じておきたいと思います。

昔のことや会報がどのようにして発行されているのか、事務局に少しお尋ねしました。宇都宮東ロータリークラブは今年設立62周年を迎えたとい

う事ですが、会報も同じ歴史があるようです。会報は、初期の頃のものが少し欠落しているとのことですが、機会があれば第1回の会報を見てみたい気がします。会報は例会等の状況を発信していますが、イタヤさんのスタッフにICレコーダーの録音をお願いして、それを事務局でテープ起こしし、発行しているとの事です。このテープ起こしが大変な作業で、個人情報流出になるような内容はないか、卓話者の話に出てきた具体的な物事や年など間違えないか、漢字の間違いはないか等、神経を使うとの事です。62年間の歴代の先輩会報委員や事務局の方々に感謝致します。

継続してやって行く事がいかに素晴らしい大切な事か、会報3000号とは直接関係はないのですが、私と剣道の話をしたと思います。私は中学校、高校、大学と10年間剣道をやっていました。特に大学時代は工学部系の大学であるにもかかわらず、建築の勉強もろくにせずに剣道ばかりに励んでいました。大学を卒業して社会人になったとたん、燃え尽き症候群と言いますか、剣道をやる気がなくなり、一切やめてしまい、それ以来竹刀を握っていません。剣道は他のスポーツと違い、全日本剣道連盟によって主催されている段位審査があります。昔は9段、10段の方がいたのですが、現在の最高段位は範士8段とのことです。私の二人の同期が、二人とも高校から剣道をはじめ、大学、社会人と続け、何年か前に7段に昇段したと聞き、大変驚きました。体が丈夫で健康でないと続けられないという事もありますが、今、二人とも最高段位の8段を目指しているとの事です。継続は力なりとよく言われますが、継続して物事をやっていると、いつか目的は達成できるという事を思い知らされました。剣道も同じような気がします。自分の気持ちに正直に小細工せずに正攻法で物事に正面から向かっていくのが、一番楽で強いのかなあと最近つくづく感じている次第です。宇都宮東ロータリークラブの会報が4000号、5000号を迎える事が出来ますよう祈念しまして、私の話を終わらせていただきます。